SDGs達成に向けた具体的な取組(要件2) 【R5.9.5変更】

					主なSDGs(17ゴールと169ターゲット)関連項目														
カテゴリ	非該		取組	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、	1	2	_	_	5	6	7	8	9	10 11	_			15 1	_
コリ	当	7-77.86	レベル	併せて記載してください。)	105 Milit	2 ****	3 1555± ₩-	(ER**	₫*	<u>A</u>	7 mari maria. Pinanganan	ari	9 22445	### ###	∞ 5 ≈ #		M 88***********************************	<u>∳</u> ≦	· ·
		【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差 別がないことを確認している	基本	差別は発生していない。また差別が発生しないよう、就業規則にて差別禁止に関する方針を定めており、年1回講習を行っている。					5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2				16	5.1 5.2 5.7
		【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備 している	基本	ハラスメントは発生していない。またハラスメント発生防止に向け年に1回ハラスメント講習会を実施している。					5.1 5.2 5.5			8.5 8.8						16	5.1
		【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	基本	勤怠管理システムによるアラート設定をしており、長時間勤務 とならないよう社長が声掛けを行ってる。また労働生産性向 上に向け、勤務時間の改善に努めている。								8.5 8.8							
		【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している	基本	外国人労働者は在籍しておらず差別は発生していない。また 外国人のお客様に向け日本語·英語·中国語それぞれの言語で説明資料を用意している。				4.4				8.7 8.8		10.2 10.3					
人権		【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	基本	安全、衛生に分けて月に1回検証を行っている。また、朝礼 で役職員へ検証結果の周知を図っている。			3					8							
· 労 働		【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	基本	相談窓口を外部に設け、相談しやすい環境を整備している。 またメンタルヘルスに対応した休職規定を整備していく。			3												
		【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境の整備に取 り組んでいる	基本	定年後の再雇用を積極的に行っており、多様な人材が活躍 できる職場環境を整えている。また女性や若手社員の積極 登用を行っている。					5.1 5.5			8.5		10.2					
		【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	基本	業務に必要な資格に関して会社が100%費用を負担することで従業員の能力開発に努めている。				4	5.5			8	9						
		【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している	基本	パートタイム労働法、労働契約法の内容を理解しており、同一労働同一賃金の原則に沿った対応を行っている。					5.5			8.5		10.2					
		【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	チャレンジ	毎年定期健康診断を受診し、従業員の健康状態の把握に 取り組んでいる。			3					8							
		【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、適切な処理に取り組んでいる	基本	事業活動において排出される廃棄物の種類と量を把握し、マニュフェストに従い適切な処理を行っている。										11.6	5 12		14.1		
環		【エネルギー・温室効果ガスの現状把握】 ・自社のエネルギー使用量、温室効果ガス排出量を把握している	基本	電気・ガンリン・重油の使用量を把握し、国へ報告している。							7.3					13			
境		【省エネ・温暖化対策の計画・取組】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる	基本	農林水産省の指標に従い、電気使用に伴うCO2排出量削減に向け、時間帯単位での使用料削減に取り組んでいる。							7.2 7.3				12.4	13.3			
		【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組ん でいる	基本	農薬等の有害化学物質を把握し、使用料の抑制と適切な処理を行っている。			3.9			6.3				11.6	12.4				

							主力	⊋SDGs	(17:	ゴーノ	レと169	ターケ	ット)	関連	車項目				
			取組	具体的な取組			3	4	5	6 7	7 8	3 9	10	11	12	13	14	15 1	6 17
ゴリ	当		レベル	(県などの取得認証があれば、 併せて記載してください。)	125 MHM	2 555	3 10000 -W∕•	ES** 5	e t	7=	8 2	1	10 *****	ALL C	± ± ± ± ± ± ± ± ± ± ± ± ± ± ± ± ± ± ±	•	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	<u> </u>	4
15		【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	基本	自社活動が地域のコミュニティに与えうる悪影響を洗いだし、 影響を及ぼさないよう配慮している。					6	.6								15	
16		【3Rの推進】 ・リデュース、リユース、リサイクルに取り組んでいる	基本	段ボールやペットボトルのリサイクルにより、資源の有効活用 に努めている。											13	1	14.1		
17		【水の管理】 ・水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる	チャレンジ	事業運営上大量の水を使用するが、今後水のリサイクルや 資源の効率化に努めていく。						.4									
18 環境		【環境マネジメントシステム】 ・1S014001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格を取得している	チャレンジ	グローバルGAPを取得している。。			3.9			6 7	7				12 1	13.3	14	15	
19		【環境情報開示】 - 環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	チャレンジ	【予定】今後HP等を通じて環境の取り組みについて正しく公開していく。										1	2.6				
20		【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	チャレンジ	【予定】今後再生可能エネルギーの利用を検討している。						7.	.2					13			
21		【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	チャレンジ	工場から排出されるCO2を農業生産で効率的に消費し、互いにwin-winの関係になれるよう進めている。										1	2.2	13	14 1	15	
22		【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知している	基本	法令遵守を研修を通じて周知徹底しており、絶対に汚職が 発生しないよう厳重に注意している。															16 6.5
23		【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している	基本	取引先企業との適切ではない契約が行われることが無いよう 高い倫理観を持って厳重に注意している。														1	16
24		【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる	基本	知的財産の侵害に当たらないか士業の方を交えながらチェッ クしている。								.2 9							
公正 25 25 業		【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している	基本	従業員へ個人情報管理について誓約書を取り交わすととも に周知徹底している。														1	16
信 26 行	×	【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している	チャレンジ	紛争鉱物の取り扱いはない。														1	16
27		【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の 防止、倫理面での適切な対応(ハラスメント・汚職・贈収賄防止)について認識を共有し、 共に取り組んでいる	チャレンジ	ステークホルダーとの対話を通じて、各社の取り組み状況を 把握し、協力しながらSDGsの達成ができるよう努めている。					5		8	3	10	:	12	13	14 1	15 1	16 17
28		【パートナーシップ構築宣言】(R5.9.5~追加) ・中小企業庁等が推進する「パートナーシップ構築宣言」を作成・公表している	基本	【予定】「パートナーシップ構築宣言」を作成・公表していく。			3				8	3 9	10						17

※「パートナーシップ構築宣言」の作成・公表方法はこちら。https://www.biz-partnership.jp/

	Т				主なSDGs(17ゴールと169ターゲット)関連項目																
		非該	チェック項目	取組 具体的な取組 にないのの場合を表す。		1	2	3										13 14	1 15	16	17
		当	アエック・項目	レベル	(県などの取得認証があれば、 併せて記載してください。)	ne h ii d	2 500	3 1000E W∳	4 55 m 5	e •	7	8	**************************************	101		± 0	13 CO	6	15 total	18 (19 m)	****** ******
29			【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	基本	年1回の試験を必ず行い安全性を確保しているが、より高い 安全性を確保するために、生産プロセスで発生するリスクを 再度洗い出し、対処を進めていく。			3.9								1	12.4				
製品・サー	i i		【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	基本	会議を実施し、PDCAサイクルのもと品質確保に務めているが、より高い品質確保のために外部の意見を取り入れながら自社の品質保証に向けた対策を講じていく。									9							
コ ビ 31 ス			【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる	チャレンジ	使用するプラスチックの削減や冷凍技術による商品開発に 取り組むことで、フードロスの削減や地球の豊かさを守る活動 を行っている。						6						12	13 14	1 15		
32			【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる	チャレンジ	【予定】脱炭素先行地域の一員として、脱炭素に資する新事業創出を目指していく。	1	2	3	4	5	6	7	8	9 :	10 1	11	12	13 14	1 15	16	17
33	4.		【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している	基本	地域のコミュニティに対する悪影響を及ぼさないよう、臭害や 虫害が発生しないよう注意している。				4					9	1	11	12	14	1 15		17
地域貢献	任会貢献・		【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	チャレンジ	農業体験や「いちご」の学校給食提供を通して子供たちに地域社 会や自然とのつながりを学ぶ機会を提供している。				4						1	11		14	1 15		17
35			【地域資源】 ・地域資源を積極的に利用(地消地産、地産外商)している	チャレンジ	地元の人材を積極的に採用している。								8	9	1	11	12	13			
36			【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有している	基本	経営理念を掲げており、社内での掲示と周知により従業員へ 共有している。								8	9							17
37			【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している	基本	コンプライアンスに関して就業規則に明記し、従業員への浸透を図っている。															16	
38			【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部署などの体制を整備している	基本	社長を中心に、会社全体で社会・環境に及ぼす影響を把握 し対応している。															16	
39 組 網	- 1		【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー (※) との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を 把握し、適切に対応している (※利害関係者:消費者、投資家等及び社会全体)	基本	ステークホルダーと継続的に対話し、全体でSDGs達成を目指していく。															16	17
体 40 制			【リスクマネジメント】 ・リスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスを整備している	チャレンジ	保険会社と協議し、事業運営上考えられるリスクを想定し、 不測な事態が発生した際に対応できるよう体制を整備してい る。															16	
41			【社会的責任】 ・CSR(Corporate Social Responsibility:企業の社会的責任)の考えに基づき企業活 動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる	チャレンジ	地域の中核農家として社会的責任を果たしている。															16	
42			【事業継続】 ・事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している	チャレンジ	災害発生時の対策を講じている。									9	1	11		13 13.1		16	
43			【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	チャレンジ	スムーズに後継者に引継ぎができるよう、計画的に事業承継 を進めている。								8	9							17

上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組	具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9 1	0 1	1 1	2 1	3 14	15	16	17

【記載留意事項】

- ・「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されていることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取組む予定のものであっても、その取組を「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能 です。(今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前に【予定】と記載してください。)
- ・「非該当」欄については、「チェック項目」が事業形態上(個人事業主等)、該当しない場合にチェックし、その理由を「具体的な取組」欄に記載してください。
- ・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載するほか、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等(※)を取得している場合は、できるだけ、その旨を併せて記載してください。
- (※職場いきいきアドバンスカンパニー認証制度、女性の活躍推進企業知事表彰、男女共同参画推進県民会議表彰、障がい者雇用優良事業所等表彰、信州豊かな環境づくり県民会議表彰、長野県技能評価認定制度、NAGANOものづくりエクセレ
- ンス認定、信州福祉事業所認証・評価制度、信州リサイクル製品認定制度、信州の環境にやさしい農産物認証制度、長野県原産地呼称管理制度、信州おもてなし大賞、えるぼし認定、循環型社会形成推進功労者表彰、森林認証制度、森林C02吸収評価 認証制度、長野県県産材CO2固定量認証制度、消防団協力事業所表示制度など)
- この「要件2」は、ISO26000 (※1) 、RBA (Responsible Business Alliance) (※2) 行動規範等を参考に、非財務情報 (SDGsの観点で市場・社会から期待される基本的な事項) について整理し作成
 「SDGsとの関連性」については、各項目について、169のターゲットに直接的に当てはまる場合は**黒字**、 間接的 (結果として) に寄与する17ゴールが当てはまる場合は、赤字で番号を記載
 企業が県へ申請する際には、チェック欄へのチェックとあわせ、「具体的な取組」へ取組内容を記載
 ※1…組織の社会的責任に関する国際規格
 ※2…労働環境、製造プロセスの環境負荷に対する責任を持っていることを確認するための規定